

平成30年度 第2回伊那北高等学校評議員懇談会報告

学校評議員運営委員会

- | | | | |
|-----|-----|---|----------------|
| I | 日時 | 平成31年1月26日(土) | 16:15~17:30 |
| II | 会場 | 高志館1階研修室 | |
| III | 出席者 | 〔評議員〕宮澤 修司(義務教育関係) 傳田 智子(上伊那広域連合)
原 胤勇(自治会関係) 宮下 聡子(保護者)
〔職員〕学校長 教頭 事務長 岡村(教務) 山崎(進路)
登内(生徒指導) 小野(特別支援) 有賀智(P T A)
勝家(職場代表) | |
| IV | 次第 | (司会:教頭) | |
| | 1 | 学校長挨拶 | |
| | 2 | 本年度の本校活動中間報告 | |
| | | (1) 学習、進路指導(山崎) | (2) 生徒指導(登内) |
| | | (3) 特別支援教育(小野) | (4) P T A(有賀智) |
| | | (5) 学校評価(登内) | (6) その他(教頭) |
| | 3 | 意見交換 | |
| | 4 | 学校長挨拶 | |

意見交換会で出された意見等のまとめ

1 学校教育全般について

- ・不登校生徒の状況及びその後の進路について → 現状(病気、対人関係、学習、学校生活への不適応など理由は様々であること等)、カウンセリングの活用等について説明
- ・課題研究発表会では非常に充実した発表を聞くことができた。応答する姿や混雑した会場内で席を譲る姿が見られ頼もしく感じたとともに、生徒の目の輝きを強く感じた。
- ・課題研究の課題設定の仕方、今後の学習活動や進路への結び付け方などが非常に重要である。→ 課題設定に至る経緯や状況について説明

2 生徒指導等について

- ・学校内における生徒のスマートフォン使用の現状、学校内の規則や指導について → ルール設定の経緯、ポートフォリオの蓄積や学習活動における使用、家庭との連携の必要性などについて説明
- ・学校入り口付近の道路の交差点における自家用車の乗降は危険であるため、今後も引く続き指導をお願いしたい。 → 現状と学校の対応について説明
- ・生徒(野球部等)の降雪時の雪かきは地域としても大変ありがたく感じている。
- ・発達障がいのある生徒(特性がある生徒)の現状と対応について → 現状について説明するとともに校内の体制(情報共有・支援体制)及び課題について説明